

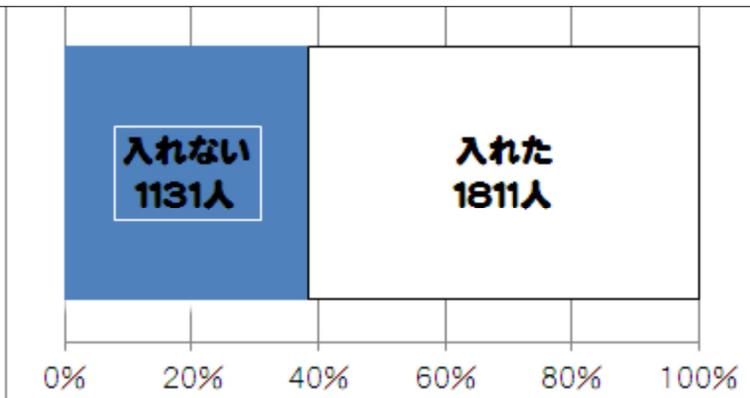
なかつか 亮



4月認可保育園 1131人が入れない 「本当に困ります」

昨年超える申請数を把握しながら追加策を具体化しない区の責任は重大です

今年4月認可保育園入園状況 申請者の4割が入園不可



- ◆申請総数 2942人
- ◆入園内定数 1811人
- ◆入園不可数 1131人
(いずれも速報値)

今年4月の認可保育園入園について、品川区内で1131人(速報値)の子どもが入園できない事が判明。保護者からは「認可に入れず、慌てて認証保育園に問い合わせたがどこもいっぱい。仕事が決まっているのに本当に困ります」と、切実な声があがっています。

学校跡地等を活用し、保育園緊急増設を

4月入園の結果発表

認可保育園の入園状況について、一次募集では申請者2532人に対し894人に不承諾通知。二次募集は1118人が申し込み868人に不承諾通知(二次とは一次不承諾通知者や新規申込者など)です。

4月認可保育園について合計2942人が申し込み、認可園入園は1811人。つまり約4割に当たる1131人の4月入園先が決まっていません。

認可保育園に入れず、保護者ら一斉に認証保育園に問い合わせ。しか

し認証も定員一杯状態。ある保護者は「4歳の長男は現在、認可保育園に在園中。しかし2歳になる下の子が入園できない。仕事をやめて次男を自宅で見ると、今度は就労してないからと上の子が認可園の退園を求められる。就労してないままでは、1年後の4月入園は2人も絶望的。本当に困ります」と訴えます。

追加の緊急対策を

共産党は深刻な実態示し、認可保育園の増設を予算委員会で繰り返し求めました。裏へ

12月時点で区は把握

予算委員会の質疑を通じ、区は認可保育園申請数が昨年を上回り、区想定を超えていることを12月末時点で把握していた事が判明。共産党は「12月末に372人も昨年より申請が多い事を把握しながら、なぜ追加対策を実施しなかったのか」と追求。区は「総合対策を実施してきたし、これからも実施する」と従来対策の説明に終始しました。認証など認可外なども入園できない方の人数など詳細は不明ですが、今年は昨年を上回る深刻な状況です。

緊急増設は可能

品川区には学校跡地が2ヶ所あります。定員百名の認可園建設費は2億円、運営費は年間2億円。区の今年度

予算は住民税が前年比29億円増収。区の貯金は712億円（26年3月時点）。緊急増設は十分可能です。あとは区長の政治決断です。

財政負担とは？

ところが濱野区長は「やがて本格的な少子化時代に突入」「区立保育園を作ると将来に禍根を残す」と冷たい発言（左）。これでは待機児解消が進むはずはありません。緊急建設の実現へ力を合わせましょう。なかつか亮

2月21日 濱野区長発言

「今は第三次ベビーブームと言われる中で子どもたちが増えているが、やがて終えん。そして本格的な少子化時代に突入する。これは決して歓迎することではないが、現実として、その時に区の財政負担を無視して、区立保育園をどんどん作るということは将来に禍根を残す。本格的な少子化がやってくる事を考えると、民間の活力を活用することが今後の区政運営にとって重要」

（本会議にて一部省略）



学校跡地は(株)TOC貸し出しをやめ、認可保育園の増設こそ



写真は昨年5月、解体中の旧第一日野小（西五反田6）の様子。区は今後、(株)TOCビル建替え時の仮テナポ用地に10年間貸し出す計画です。共産党は、ビルづくり支援ではなく「認可保育園の緊急建設を」と提案しています。この他、荏原第四中学校跡地（豊町3）は今後、私立高校の建替え時の仮校舍用地に貸し出す計画です。学校跡地は1ヶ所7～8千㎡。認可保育園は600㎡（園庭有り）ほど。緊急増設は、十分可能です。

品川区長選挙及び区議補欠選挙の告示日・投票日が決定

品川区選挙管理委員会は3月11日に、区長任期満了にともなる品川区長選挙及び区議補欠選挙（現在欠員2名）の日程を以下の通りに発表しました。

告示日：9月28日（日） 投開票日：10月5日（日）

期日前投票：区役所・各地域センターにて9月29日（月）～10月4日（土）

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

4月11日（金） 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
 弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
 連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231